

確認すること

子どもの症状

大人症状

高齢者の症状

救急車の呼び方

電話相談
病院内

休日夜間
急患診療

事故防止
(子ども)
(高齢者)

応急手当

家庭で起こる病気やけがの予防(子ども)

誤飲

★予防のポイント

- たばこや灰皿は、子どもの手の届かないところへ置きましょう。
- ピーナッツやあめ玉などは、子どもの手の届かないところへしまいましょう。
- おもちゃは、子どもの口に入る大きさのものを与えないようにしましょう。
- 薬や洗剤などは、子どもの手の届かないところへ置きましょう。



やけど

★予防のポイント

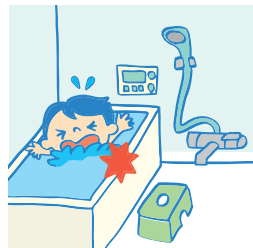
- スープ等の熱い料理は、子どもの手の届かないテーブルの中央に置くなど配慮しましょう。
- やかん、アイロンなど、やけどに繋がる熱い物を子どもの手の届くところへは置かないようにしましょう。
- ストープは触れないように、柵を設けましょう。



転落・溺れる(屋内)

★予防のポイント

- ベランダには踏み台になるような物を置かないようにしましょう。
- 階段やベッドには、転落しないように柵を設けましょう。
- お風呂は浴槽への転落の危険があります。浴室のカギを閉める、浴槽の水は抜いておくなどしましょう。
- 洗濯機は、水を張ったまま、放置しないようにしましょう。



屋外での事故

★予防のポイント

- 川や池などには、危険が多いので子どもだけで行かせないようにしましょう。
- 高所からの転落事故に注意しましょう。
- 自転車への乗り降りの際に転倒事故が多く発生していますので注意しましょう。
- 駐車場内では子どもの交通事故が多く発生していますので注意しましょう。
- 子どもはお母さんやお父さんの後を追います。道路を横断する際は、子どもと手をつなぎましょう。

